

# 東京女子大學 日本文學

第五十三號

## 目次

十八世紀の哲学と科学の間<sup>あいだ</sup>

—— 洪大容と三浦梅園 ——

小川 晴久（一）

日本詩訳 詩経国風

—— 中国古代の詩学（4・5） ——

中国文学ゼミ（一九）  
（加納 嘉光編）

『建礼門院右京大夫集』研究

—— 家集における隆信の位置 ——

岡崎 三智（三〇）

蜻蛉日記研究

—— 兼家像の形成をめぐる ——

中野 圭子（四）

芥川龍之助研究史

—— 切支丹物とキリスト教について ——

吉田早奈枝（三）

横光利一「旅愁」校異（一）

佐藤 絹子（六）

東京女子大学日本文学研究会規約

（一〇七）